

令和8年度 第1回伊那北高等学校評議員懇談会報告

学校評議員運営委員会

I 日 時：令和8年7月3日（金） 15：30～17：00

II 会 場：高志館1階研修室

III 出席者：〔評議員〕 桂本 真司（義務教育関係） 原 猛文（大学関係 欠席）
唐澤 利幸（上伊那広域連合） 福沢 勉（自治会関係）
松井 秀之（企業関係） 岩崎 靖（同窓会関係）
國枝 裕子（保護者）

〔職員〕 校長 教頭 事務長 朝倉（教務） 丸山（進路・学校評価）
三澤（生徒指導） 小泉（生徒相談） 塩原（CPA）
松村（PTA） 田畑（職場代表）

IV 次 第：（司会：教頭）

- 1 委嘱状交付
- 2 学校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 本校の概況について
 - (1) 学習、進路指導（丸山）
 - (2) 生徒指導（三澤）
 - (3) 生徒相談他（小泉）
 - (4) 学校評価（丸山）
 - (5) CPA（塩原）
 - (6) PTA（松村）
 - (7) その他（千葉）
- 5 意見交換
- 6 学校長挨拶

1 意見交換で出された質問・意見等のまとめ

（1）学校教育全般について

- 学業、生活態度ともに素晴らしい。自立した生徒が多い。
- 子どもたちは大人の姿をよく見ている。大人のネガティブな発言の影響を教員は自覚しながら、明るく楽しんでいる姿を見せるなど大人が雰囲気づくりを含め体現してほしい。

（2）学習・進路指導について

- 非認知能力を養うことができる教育を行ってほしい。
- 2年次までの課題研究をどう3年次につなげていくかは課題である。
- 中学1年生が伊那北校生から探究について教えてもらえる機会がある。今後もこのような関係性が継続、充実していくよう期待したい。
- 大学・専門家とのつながりなど、上伊那の知のネットワークの中心となるよう期待したい。
- 人材の確保に苦慮する地元企業等が増えている現状がある。卒業して一旦地元を離れても再び戻って来てくれるような生徒を育ててほしい。

（３）生徒指導及び基本的な生活習慣について

- 成績が振るわない生徒や欠席が多い生徒について、どのような指導をしているのか？
- 自転車事故等も含め、改正道路交通法等に関する指導を充実させてほしい。

（４）再編・統合について

- 新校開校に向かう子どもたちの意識・イメージは？どのような学校を作っていきたいと考えているのか？
- 新校の大学科、小学科の名称については検討の必要がある。何を目指すのか、何を学ぶのかがわかりやすいものになるようにしてもらいたい。

（５）その他

- ＰＴＡクリーンアップにおいて、学校（同窓会館）周辺の市有地・県有地の整備等を行ってくれていることに感謝したい。今後も校舎外・校地周辺の環境整備は課題である。